

令和 8 年度地域口腔ケアステーション対応力向上研修のご案内

三重県と三重県歯科医師会では、在宅歯科医療の充実や医科歯科連携の推進のため、県内 11 か所に地域口腔ケアステーションを整備しています。

この度、地域口腔ケアステーションにおける、口腔機能向上対象者、摂食嚥下障害患者等への対応力の強化を図ることを目的とし、嚥下内視鏡検査と摂食嚥下訓練に関する研修を行います。

つきましては、多くのご参加を賜りますようお願いいたします。

日 時 令和 8 年 9 月 13 日（日）午前 10 時～12 時

会 場 ◎Web 受講 ※Zoom ウェビナーを使用

◎会場受講（三重県歯科医師会館：津市桜橋 2 丁目 120-2）

演 題 「嚥下内視鏡検査と摂食嚥下訓練について理解しよう」

「リハビリテーションを中心とした嚥下治療について考えてみよう」

※当日は、嚥下内視鏡検査のデモンストレーションを行います。

講 師 三重大学大学院医学系研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科 准教授 石永 一 先生

※詳細は裏面をご覧ください。

対 象 歯科医師、歯科衛生士、看護師、言語聴覚士、管理栄養士等

申込方法 ◎Web 受講の場合

必ず期日までに、下記 URL または二次元コードからお申込みください。

URL https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_buZjYg1rT_OKGqedE77e_g

登録完了後に登録されたメールアドレス宛、

研修の視聴方法等の詳細をご連絡いたします。

◎会場受講の場合 <定員：150 名>

必ず期日までに、下記、参加申込書にてお申込みください。

※先着順（定員を超え、受講できない場合に限り連絡をいたします。）



<二次元コード>

申込締切 令和 8 年 9 月 7 日（月） <参加無料>

※三重県歯科衛生士会会員で、日本歯科衛生士会第 5 次生涯研修制度に基づき受講単位の申請を希望される方は参加申込時にご連絡ください。なお、申請にあたり三重県歯科衛生士会に氏名を連絡しますのでご了承ください。

※感染症の流行や悪天候等により、やむなく中止となる場合は、当日の午前 9 時までに三重県歯科医師会ホームページに掲載します。

令和 8 年度地域口腔ケアステーション対応力向上研修参加申込書（会場受講用）

所属		電話	- -
氏名	ふりがな（ ）	職種	
三重県歯科衛生士会会員で、日本歯科衛生士会第 5 次生涯研修制度に基づき受講単位の申請を希望される方はチェック☑を入れ、会員番号を記入してください（三重県歯科衛生士会経由）			☐ (会員番号)

<お申込み・お問合せ> 三重県歯科医師会事務局 FAX 059-227-0510

TEL059-227-6488 / 〒514 - 0003 津市桜橋 2 丁目 120-2

「嚥下内視鏡検査と摂食嚥下訓練について理解しよう」 「リハビリテーションを中心とした嚥下治療について考えてみよう」

三重大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉・頭頸部外科 准教授 石永 一 先生

嚥下障害の評価では、嚥下内視鏡検査や嚥下造影検査が大切な役割を担っています。今回は、その中でも嚥下内視鏡検査を中心に取り上げます。嚥下内視鏡検査は、専用の検査室がなくても実施しやすく、日常診療の中で活用しやすい検査です。基本的な考え方や観察のポイントを確認しながら、明日からの診療に役立つ知識を一緒に学んでいきたいと思います。

本講習会では4つのパートに分けて進めます。パート1では、嚥下内視鏡検査を安全に行うための注意点と、嚥下機能評価の基本について確認します。また、器質的疾患を見逃さないためにどのような点に気をつけるとよいか、事例を交えながら考えていきます。パート2では、実際の嚥下障害患者さんの嚥下内視鏡所見を見ながら、正常所見と異常所見の違いを整理します。所見の見方を少しずつ確認することで、診断の理解を深めていきます。パート3では、被検者のご協力のもと、嚥下内視鏡検査のデモンストレーションを行います。内視鏡操作のコツや観察のポイントを実際に見ながら、より具体的にイメージしていただける内容にしたいと思います。パート4では、摂食嚥下訓練・リハビリテーションを中心に、嚥下障害に対する治療について考えます。姿勢調整や栄養管理、間接訓練、直接訓練に加え、必要に応じて行われる手術についても触れながら、日常診療に活かせる内容を共有します。

【講師紹介】 石永 一（いしなが はじめ） 昭和45年5月15日生まれ 56歳

【略 歴】

平成7年3月	三重大学医学部医学科卒業
平成7年	三重大学耳鼻咽喉科研修医
平成8年～11年	旧山田赤十字病院（現伊勢赤十字病院）耳鼻咽喉科
平成11年～14年	三重大学耳鼻咽喉科医員および助手
平成15年～17年	米国 House Ear Institute 細胞分子生物学部門 Research fellow
平成17年～18年	Rochester 大学医療センター微生物学・免疫学講座 Research Fellow
平成18年～	三重大学耳鼻咽喉・頭頸部外科助教
平成21年～令和8年	三重大学医学部附属病院耳鼻咽喉・頭頸部外科講師
令和8年～	三重大学医学部附属病院耳鼻咽喉・頭頸部外科准教授

【免 許】

平成7年5月	医師免許取得	令和2年4月	嚥下相談医取得（日本嚥下医学会）
平成12年9月	耳鼻咽喉科専門医取得	令和4年3月	頭頸部アルミノックス治療（光免疫療法）治療医取得
平成12年11月	気管食道科専門医取得		
平成19年7月	医学博士取得	令和5年4月	頭頸部ダビンチ（ロボット）手術 コンソール術者取得
平成23年10月	頭頸部がん専門医取得		
平成29年10月	頭頸部がん専門医制度指導医取得	令和7年11月	頭頸部アルミノックス治療指導医取得
		令和8年2月	日耳鼻三重県嚥下キーパーソン委嘱

【その他】頭頸部癌学会代議員、東海頭頸部腫瘍研究会幹事、みえ摂食嚥下リハビリテーション研究会世話人副代表

【研究費】科学研究費：研究代表者として合計1410万円獲得

平成28年生命の駅伝がん研究奨励賞

平成30年度三重県健康管理事業センター がん研究等学術助成金

【嚥下関連の論文】

1. 石永 一、平田智也、熱田翼、林希朗、田中萌、堀真輔、番匠谷博之、竹内万彦：誤嚥防止手術後の長期経過の検討。嚥下医学 14：89-94, 2025.
2. 石永 一、上村健太、鶴岡弘美、林希朗、竹内万彦：腫瘍随伴性皮膚筋炎における重度嚥下障害に対して喉頭挙上術を施行した症例。嚥下医学 12：56-61, 2023.
3. 石永 一、中村 哲、竹内万彦：術後十分な満足が得られなかった誤嚥防止手術例。嚥下医学 11：77-81, 2022
4. 石永 一、中村 哲、荒川 愛子、欠田成人、上田有紀人、松田佳奈、横山智哉、水谷 仁、竹内 万彦：嚥下障害を呈した皮膚筋炎症例の検討。嚥下医学 7(1), 6-90, 2018. 他多数